

注意事項

(1) 取り扱い方法

1. 取扱い作業は火気のない所で行って下さい。
2. 液が体に付くと危険なため、作業時には保護手袋、保護眼鏡を着用して下さい。
3. 液が直接皮膚に触れないよう、十分注意しながら作業して下さい。
4. 使用中は風通しのよい場所か、十分な換気を行って下さい。
5. 取扱い後はよく手を洗って下さい。
6. 使用した器具は乾かないうちに水や溶剤で洗浄して下さい。

(2) 救急処置

1. 蒸気を吸い込み気分が悪くなった時は、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受けて下さい。
2. 手や皮膚等に付着した場合、直ちに大量の水で十分に洗い流して下さい。痛みや外観の変化がある時は医師の診断を受けて下さい。
3. 目に入った時は、大量の水で数分間注意深く洗い、できるだけ早く、医師の診断を受けて下さい。
4. 飲み込んだ場合、無理して吐かせず、大量の水を飲んで下さい。できるだけ早く、医師の診断を受けて下さい。

(3) 貯蔵・保管方法

1. 高温の場所での保管を避け、涼しく換気の良いところで保管して下さい。
2. ふたをよく締め、子供の手の届かない所に保管して下さい。

(4) 廃液処理

1. 回収した剥離塗膜・剥離剤・廃水等は、有資格処理業者に委託して処理して下さい。

関係法令

法規制	リペアソルブS	従来タイプ(塩素系剥離剤)
有機溶剤中毒予防規則	非該当	非該当
特定化学物質障害予防規則	非該当	該当
消防法	非該当	非該当
PRTR法	非該当	該当
廃棄物処理法	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物

※物性・関連法規・注意事項等の詳細に関してはSDS(製品安全データシート)の内容をご確認願います。

SDSは弊社HPの「お問い合わせ」欄からご請求願います。

※リペアソルブは、三協化学株式会社の登録商標です。

製造元

SANKYO CHEMICAL



三協化学株式会社

<http://www.sankyo-chem.com/>

本社/愛知県名古屋市東区白壁四丁目68番地

TEL:052-931-3111 FAX:052-931-0976

東京事業所/東京都千代田区鍛冶町1-10-1丸石ビル別館5階

TEL:03-5289-4777 FAX:03-5289-9088

販売代理店

環境対応型 塗膜剥離剤

水系非危険物・非塩素系・高粘度型

リペアソルブS[®]

湿式剥離工法

国土交通省
新技術情報提供システム(NETIS)
登録商品
登録No.CB-170013-A

特許出願中

鉛含有塗料やアスベスト含有塗料等
旧塗膜の環境問題を完全に解決!!

リペアソルブS[®]

特徴1 環境対応型で強力剥離

特徴2 極めて低臭

特徴3 非危険物

特徴4 経済性に優れる

特徴5 液ダレしない高粘度タイプ

旧塗膜(鉛含有塗料やPCB塗膜等)を剥離するためには以下のような問題がありました。

- ① プラスト・電動工具工法…塗膜が飛散する、膨大な時間と労務費、騒音
- ② 塩素系剥離工法…法律での厳しい規制、作業員への健康被害
- ③ その他剥離工法…引火性があり危険、臭いが強く周辺住民・作業員に悪影響、高いコスト。

以上のような問題を解決するために、リペアソルブSは鋼構造物や一般建築物などで使用する剥離剤として、安全性・利便性を向上の為、開発されました。



リペアソルブS工法の特徴

リペアソルブSは水系の剥離剤です。生分解性が高いため、作業や環境に影響が少なく、安全な作業環境づくりに貢献します。また従来の塩素系剥離剤と比べ、多層塗膜への浸透性が高く、一度に複数の塗膜を剥離することができます。リペアソルブSによる剥離は塗膜が湿潤シート状に剥離されるため、剥離時に塗膜が飛散することがなく、塗膜の回収が容易です。

特徴1 環境対応型で強力剥離

ジクロロメタン非含有でありながら、あらゆる塗料に対して効果があり、強力に剥離することができます。

特徴2 極めて低臭

極めて低臭の為、作業者に優しく、周辺環境に配慮した作業ができます。

特徴3 非危険物

消防法上の非危険物のため、火気や静電気による火災事故を防ぐことができます。

特徴4 経済性に優れる

プラスト工法等に比べ、鉛やPCB等有害物質を含む塗膜ダストの飛散対策が容易で人件費や二次設備費を圧縮できます。また、水系剥離剤としては安価です。

特徴5 液ダレしない高粘度タイプ

液ダレしないよう適度な粘度があるため、スプレーガン、ローラー、刷毛塗布が可能で、安全に作業ができます。剥離カスが散ることもありません。

用途と性状

鋼構造物塗装(橋梁、歩道橋、水門、鉄塔等) ※鉛・PCB等有害物含有塗膜にも対応。



リペアソルブS

系統	水系非危険物・非塩素系・高粘度型
色相	乳白色
引火性	なし
臭気	極めて低臭
液性	弱酸性
荷姿	16kg(一斗缶)

標準剥離時間

フタル酸系塗料や塩化ゴム系塗料は塗布から3~8時間程度で湿潤シート状態(剥離できる状態)になり、鉛系錆止め塗料や重防食塗料(エポキシ、ウレタン)は4~18時間程度で剥離ができるようになります。

標準塗布量: 0.5~1.0kg/m²(1回塗布につき)
最大塗膜厚: 500μm(1回につき最大の塗膜厚さ)



12~24hr

<剥離>
フッ素樹脂塗料、
有機ジクロリッチ塗料

4~18hr

<剥離>
鉛系錆止め塗料、
エポキシ樹脂塗料、
ウレタン樹脂塗料、
メラミン樹脂塗料

3~8hr

<剥離>
フタル酸系塗料、塩化ゴム系塗料

1~3hr <剥離>
ラッカー、アクリルラッカー塗料

※事前に現場にて適性条件・時間をテストして下さい。
※塗膜の状況、気温により条件は異なります。
※写真は、鉄門塗装に使われたフタル酸系塗料への事前テストを撮影したものです。

従来工法との比較

従来工法のデメリット

プラスト工法、電動工具工法

- 機械の騒音が大きい。
- 削った塗膜が飛散する恐れがある。
- 除去塗膜の回収率が低い。
- 産業廃棄物処理コストが高い。

従来の課題を解決!!

リペアソルブS工法

- 剥離剤を塗布するだけなので、騒音がない。
- 湿潤シート状に剥離されるため塗膜が飛散しない。
- 湿潤シート状剥離のため塗膜回収が容易である。
- 塗膜回収率が高く、産廃コストが低い。

従来の塩素系剥離剤工法

- 毒性が強い。(発がん性あり)
- 揮発性が高く、臭気が高い。
- 塗膜を一度に剥離できない。

リペアソルブS工法

- 低毒性で、生分解性が高い。
- 低臭のため、作業や周辺環境に配慮できる。
- 多層塗膜を一度に剥離できる。

※リペアソルブS工法では錆びている部分などには効果がないため、電動工具等の併用が必要です。

使用方法

1. 塗布面の汚れを拭き取って下さい。
2. 使用前に缶を軽く振り、攪拌して下さい。
3. スプレーガン、ローラー、刷毛などで、剥離剤を標準塗布量を参考に均一に塗布して下さい。
4. 塗膜の種類、素材によって剥離されるまでの時間が異なります。一定時間放置して下さい。
5. 塗膜が軟化し、浮き上がってきたら、スクレーパーやヘラで掻き取って下さい。※刃先が交換可能な鋭利なスクレーパーを推奨します。
6. 1回の作業で除去できない場合(膜厚が厚いとき)、繰り返し作業を行って下さい。
7. 除去後、水や洗浄剤を染み込ませたウエスやペーパー等で拭き取って下さい。

※SDSの内容をよく読み、内容を理解するまでは使用しないで下さい。

※塗膜が強固な場合や塗布部が複雑な形状の場合、剥離剤塗布面を養生するとより効果が上がります。

施行例

1 塗布面を清潔にする

2 剥離剤リペアソルブを塗布する (最大塗膜厚 500μm)

3 剥離剤が徐々に浸透する

4 塗膜が浮き上がった状態になる

5 スクレーパー等で剥ぎ取ると湿潤したシート状に回収できます。

6 水や洗浄剤を染み込ませたウエス等で剥離剤の残留物等を拭き取ります。

塗布面に付着している泥・苔・鳥の糞等を除去して下さい。汚れた状態は、剥離剤の浸透を妨げ、剥離不良につながります。

一定時間放置する。剥離剤が徐々に塗膜に浸透していきます。

化学反応により塗膜が軟化湿潤した状態になります。